|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導内容 | 学習活動(課題、発問、活動等) | 指導上の留意点及び評価 |
| 導入（10分）  　前時の復習 | 復習  (1)２点間の距離をで表せ。  (2)２点において線分をに内分する点と外分する点を図示せよ。  (3)点を中心とする半径３の円がとなる理由を説明せよ。 | ・授業の流れを、ICT（プレゼンテーションソフト）で説明する。  ・目標の提示で学習の見通しを示し、意欲を高めさせる。  ・全員が解けるという目標を共有させ、協働して課題解決を促す。  ・既習内容を確認させる。（自分との対話）  ・ICT（関数グラフ描画ソフト）を使って条件を満たす点の集合体が円であることを確認させる。 |
| 展開１  （25分）  　グループに分かれて課題に取り組む  自分との対話  他者との対話 | 課題　Ａ班  ２点から等距離にある点の軌跡  課題　Ｂ班  ２点に対してを満たす点の軌跡  【個人学習】  ワークシート   |  | | --- | | 理解『どのような問題か？』  関連『関連する学びは何か？』  計画『どのように解くか？』  実行『計算せよ』 |   【グループワーク】  協働して課題を解決する。発表する役割分担を決める。 | ・４人１組のグループワークとする。Ａ班×２  　Ｂ班×２  評価【知識・理解】  軌跡の方程式の求め方を既習内容との関連で理解している。　　　D3  評価【数学的な技能】  軌跡の方程式の求め方を、論理的に説明することができる。　　　　C3  C:\Users\work\Desktop\作業用\ピクトグラム\icon_red05先哲の考え方を手掛かりとする.png  思考を概念化し、  表現に置き換える。 |
| 展開２  （10分）  班ごとに発表する | 【発表】  各班２分で発表する。お互いの考えを比較する。  「まず・次に・最後に」（三段ステップ）で説明する。 | 多様な手段により表現し、伝える。 |
| まとめ  （５分） | 【振り返り】　　　　ワークシート   |  | | --- | | 振り返り『共通することは何か？』  『新たな発見は何か？』  『感想を書きましょう』 |   　自己の学びをモニタリングさせ、次の学習につなげる。 | ・次時に確認テストの実施を予告し、新たな技能を習得させる。 |